

日々の吸入の記録や、吸入のトレーニングができるスマートフォン向けアプリです。

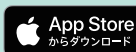
## 吸入サポートアプリのご案内



- 日々の吸入状況の記録、確認(日・週・月別)が可能。
- 設定時間に吸入のアラートを通知可能。
- 吸入手順を動画で説明。
- 専用トレーニングデバイスによる吸入手技の確認が可能。



【iOS】13以上  
iOS 12以下では動作確認を行っておりません。  
(iPhone6s以上必要)  
【Android】6.x以上  
Android 5.x以下では動作確認を行っておりません。



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。  
App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

## 吸入トレーニング

専用トレーニングデバイスを使用して、吸入のトレーニングを行うことができます。



専用トレーニングデバイス



# ブデホル<sup>®</sup>吸入粉末剤「ニプロ」を使用される喘息患者さんへ

## 医師の指示通りに使用しましょう

### あなたの吸入回数は

毎日の吸入[定期吸入]

発作(症状)が起こった時[とんよう]

朝 晩 1日合計

吸入 吸入 + 吸入まで

です



※発作(症状)が起こった時の吸入回数が記載されていない場合は、とんようできません。

## ……… ブデホル吸入粉末剤「ニプロ」の用法・用量 ………

| 毎日の吸入[定期吸入] |      |
|-------------|------|
| 朝 ☀         | 晩 🌙  |
| 1 吸入        | 1 吸入 |
| 2 吸入        | 2 吸入 |
| 3 吸入        | 3 吸入 |
| 4 吸入        | 4 吸入 |

| 発作(症状)が起こった時[とんよう] |
|--------------------|
| 医師の指示があった場合のみ吸入可   |
| 1日合計 6 吸入まで        |
| 1日合計 4 吸入まで        |

- 定期吸入ととんようを合わせて、通常1日8吸入まで可能です。医師の指示がある場合、一時的に1日12吸入まで可能ですが、1日8吸入を超える場合やとんようの回数が増加した場合は喘息コントロールが十分でない可能性があるため、速やかに医師の診察を受けてください。
- とんようする場合、まず1吸入してください。それでも発作(症状)が治まらない場合は、数分あけてもう1吸入してください。必要に応じてこれを繰り返します。

- 毎日の吸入[定期吸入]
- 通常、気道の炎症は持続性であるため、症状が改善しても吸入を中止すれば、しばしば気道の炎症が再燃します。
  - 症状がおさまっていても、気道の中の炎症は続いています。症状がないからと途中で吸入を中止せず、医師の指示通りに続けましょう。

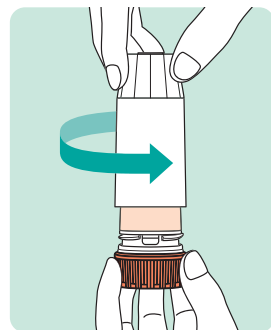
- 発作(症状)が起こった時の吸入[とんよう]
- 毎日の吸入を行っていても、かぜやアレルゲンなどの刺激で、発作(症状)が起こることがあります。
  - 発作(症状)が起こった時の吸入は速やかに行いましょう。  
(息苦しさを感じる、咳(せき)が出そうになる、痰(たん)がからむ、のどや胸に違和感を感じる(むずむずする)、など)

※発作(症状)が起こったときのブデホル以外の治療薬については医師に相談してください。  
※発作(症状)が起こったときの吸入(とんよう)は、医師の指示があった場合のみ可能です。



# ブデホル吸入粉末剤「ニプロ」の吸入方法

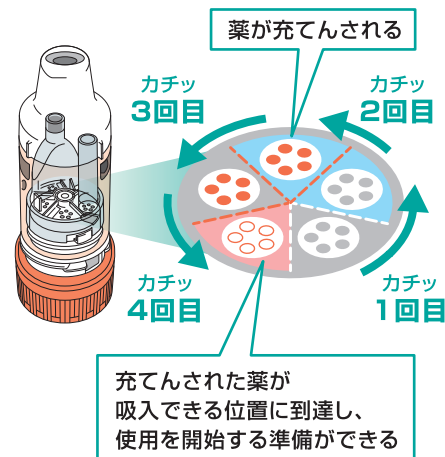
はじめに 未使用の吸入器を使用するときだけ、以下の操作を行ってください。



キャップを回して  
外します



「カチッ」と4回音が鳴るまで左右に回します  
開封後は回転グリップは右に回転した状態です。  
はじめは左に回り、「カチッ」と音がします(1回目)。  
4回目に「カチッ」とならしたところでとめてください。

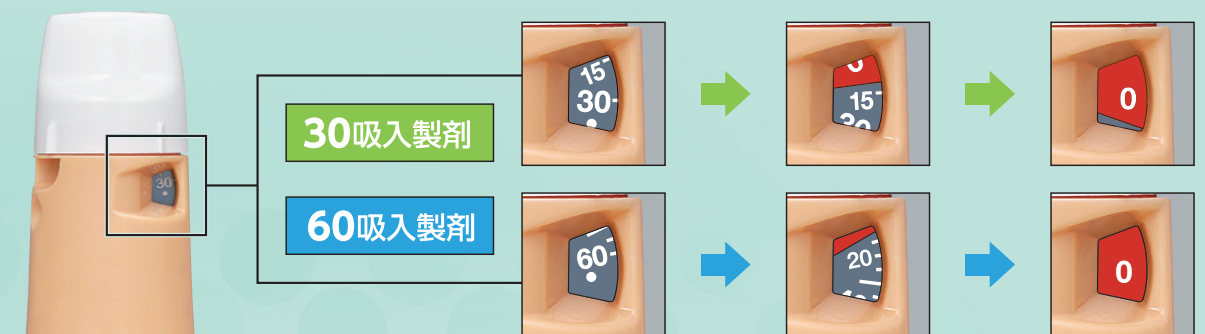


充てんされた薬が  
吸入できる位置に到達し、  
使用を開始する準備ができる

その後①に進んでください

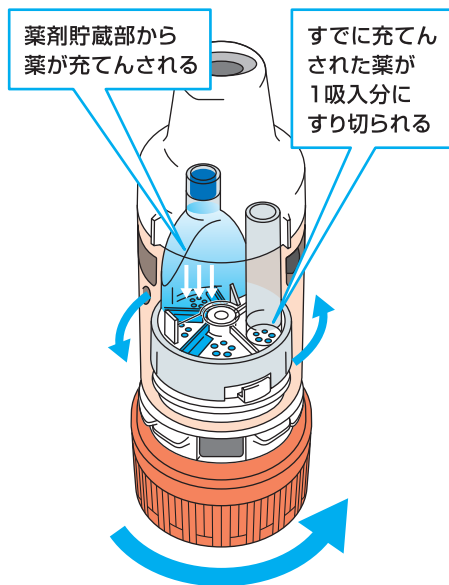
## 残量表示窓について

表示の進み方と交換時期(実際の見え方)

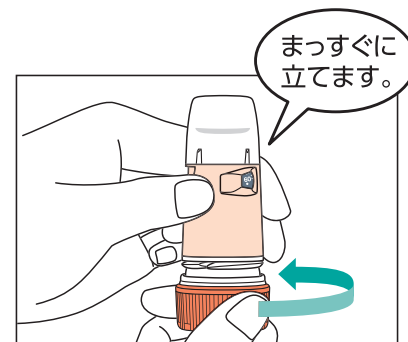


- 残量表示窓で大まかな残りの吸入回数を確認できます。
  - ・「右へ回して左に戻す」操作を行うことで、表示が少し進みます。
  - ・使用回数を重ねていくと、徐々に赤い印が見えてきます。
  - ・残量表示窓の中央に「0」が表示され、それ以上進まなくなったら、使用をやめて新しい吸入器を使用してください。  
※残量表示窓が完全に赤色にならないことがあります。 ※残量表示窓の表示が0になっても、橙色の回転グリップは回ります。
- 吸入するおくすりは刺激が少なく、ごくわずかな量です。吸った感じがなくても①～③の操作が正しく行われていれば、おくすりは吸入できています。

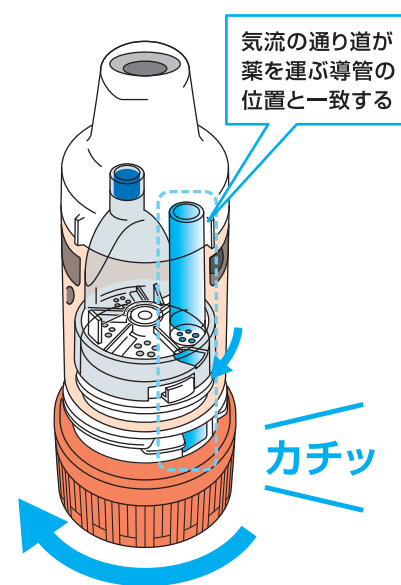
## ① 右へ回す。



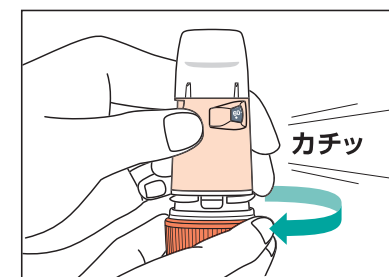
橙色の回転グリップを図の矢印の通り右方向へ回転させます。  
回転が止まるまでしっかり回してください。



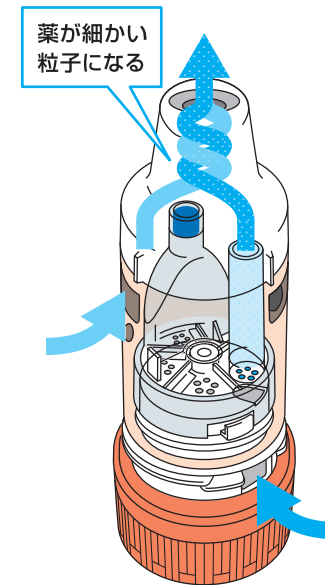
## ② 左に戻す。「カチッ」と音が鳴ります。



橙色の回転グリップを図の矢印の通り左方向に回転させます。  
「カチッ」と音が鳴れば、おくすりがセットされた合図です。



## ③ 息を吐いて、深く大きく吸い込む。



息を十分吐いてから、白色のマウスピースをくわえ、息を深く大きく吸い込みます。  
吸い込んだ後は、マウスピースから口を離して息を吐いてください。

※吸入するときに、薄い橙色の本体を握らないでください。  
※マウスピースに息を吹きかけないでください。



①～③の操作で1吸入です。2吸入以上行う場合は①～③の操作をくり返し行ってください。必要な吸入回数を終えたらキャップを閉めます。

使用後に必ずうがいをしてください。  
(うがいが難しい場合は口の中をすすいでください。)